

2019年(平成31年)

2月20日号

No.281

年5回(5・8・10・12・2月)発行

発行 市川市消防局

〒272-0021市川市八幡1丁目8番1号

TEL047-333-2111(FAX047-333-8181)

ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

※右のQRコードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

▼QRコード



こちら



消防テレホンガイド

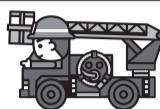
☎ (333)3636

火災・地震・気象など各種情報を伝えします

火災・救急件数(1月末日現在)

◆火災 13件【前年比 +4件】

◆救急 2,398件【前年比 +128件】



平成30年火災件数について



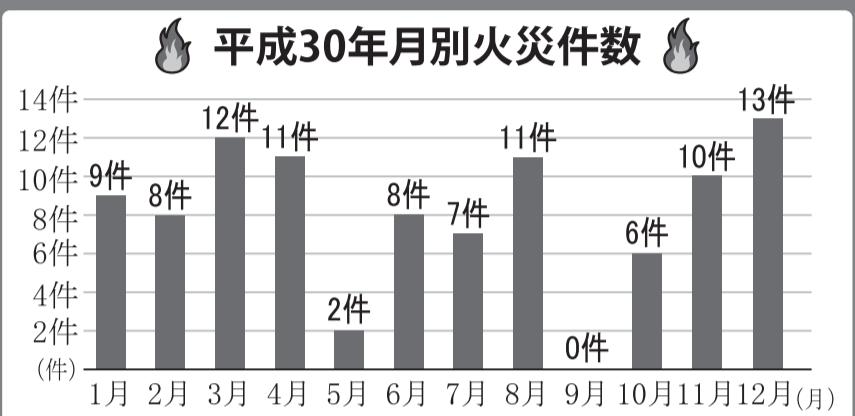
- 本市の平成30年の火災件数は97件(前年比+2件)で、3年続いて100件を下回りました。

また、月別の火災件数はグラフのとおりです。ちなみに9月は火災がなく、1か月の間に1件も火災がなかったのは、昭和31年10月以来、実に62年ぶりのことです。

- 火災による死者は4人(前年比-1)で、そのうちの3人が65歳以上となり高齢者の占める割合が高くなっています。

《火災予防のポイント》

- 家のまわりに燃えやすいものを置かない、たばこの不始末をしない、コンロを使っているときは、その場から離れないようにしましょう。



春の火災予防運動

Spring Fire Festival

3月1日から7日にかけて「春季火災予防運動」が実施されることに併せて、より一層の火災に関する知識を高めてもらえるよう『春の火災予防運動 Spring Fire Festival』を開催します。消防音楽隊による演奏をはじめ、こどもから大人まで火災予防に対する理解を深められるイベントとなっておりますので、是非、ご来場ください。

【日 時】平成31年3月3日(日)午前10時~11時

【場 所】市川1丁目1番1号 JR市川駅構内コンコース

【内 容】・消防音楽隊の演奏

- ・住宅用火災警報器の広報
- ・火災予防広報グッズの配布
- ・子どもの消防服着装体験

【問い合わせ】西消防署 323-0119



♪火災予防の想いをのせて演奏します♪



消防服を着て、
君も消防士になろう



災害発生時の心得



ちょっと待って一斉帰宅

《むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を》

- ・例えば、駅にいる方は駅で、職場にいる方は職場で、学校にいる方は学校で、自分の身の安全を確保し、その場で落ち着いて状況を把握しましょう。
- ・発災直後に状況を確認せず、慌てて帰宅を開始すると、路上や駅周辺が混雑し、集団転倒などに巻き込まれたり、火災や余震による沿道建物からの落下物による二次災害に巻き込まれる恐れがあるなど、大変危険な状態となります。
- ・また、帰宅・送迎の車などで道路が渋滞し、一斉に徒步帰宅を始めた方々が路上にあふれることにより、救急・消防・警察などの緊急車両の通行が妨げられる恐れがあります。

安否を確認しましょう

- ・まずは慌てず落ち着いて、自分の安全を確保し、家族等の安否確認を行いましょう。
- ・発災後、しばらくは電話がつながりにくい状態が続きますので、災害時に有効な「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板サービス」などを活用しましょう。
- ・安否確認方法については、日頃から家族で話し合って決めておくほか、災害用伝言サービスの利用方法について、確認・体験しておきましょう。(毎月1日や15日などが体験日となっています)
- ・公衆電話や携帯電話メール、インターネットを利用したLINE、TwitterやFacebookなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が比較的つながりやすくなっています。

徒歩帰宅支援の取り組み

千葉県を含む9都県では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、災害時に水道水やトイレの提供のほか道路交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。こうした店舗には、ステッカーが掲示されていますので日頃から帰宅経路の店舗の場所を確認しておくと災害時に役立ちます。



コンビニエンスストア
ファミリーレストラン



①まずは身の安全



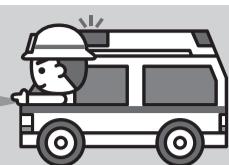
②家族等の安否を確認



③安全な場所で正しい
情報を得る

平成30年の救急件数
23,570件

過去最多を更新

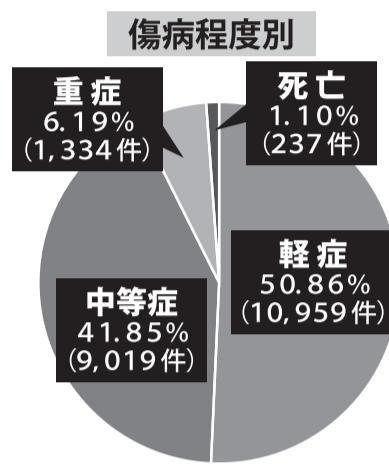


救急車の適正な利用に皆様のご理解ご協力をお願いします

近年、全国的に救急車の出動件数は増加傾向にあります。本市における昨年の救急件数は23,570件で、前年と比較し1,059件増加しました。医療機関に搬送された人数は、21,549人で傷病程度別に見ると、入院を必要としない「軽症」が最も多く約51%を占めています。

緊急ではない人が救急要請した場合、急な病気や事故で緊急に救急車が必要とする人のところへ遠方の消防署から出動することになり、本来救える命が救えなくなる可能性があります。

本市には、12台の救急車を配置しておりますが、救急車は地域の限られた資源ですので、緊急性がなく自分で病院に行ける場合や定期的な通院などは公共交通機関などを利用していただくようご理解ご協力をお願いいたします。



ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

こども(15歳以下)



おとな



救急車を呼んだほうがいいのか判断に迷ったときは

市川市急病医療情報案内 (あんしんホットダイヤル)

24時間365日・無休
TEL 0120-241-596

- ・病院・診療所等の案内
- ・急な病気・けが
- ・健康についての相談
- ・メンタルヘルスの相談
- ・子育てや介護の相談

※携帯電話やPHSからご利用できます
通話料無料、市川市民専用
非通知では、利用できません。

その他電話相談窓口

【千葉県救急安心電話相談 # 7009】

具合が悪くなり、自分で病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったときに

【相談日時】 平日・土曜日 午後6時～11時

日曜日、祝日 年末年始、GW 午前9時～午後11時

【電話番号】 #7009

※ダイヤル回線、IP電話、PHSからおかげの場合はTEL 03-6735-8305

【こども急病電話相談 # 8000】

子供が頭をぶつけた。発熱がある。嘔吐・けいれんしたなど。相談には看護師が応じアドバイスをします。また必要な場合は小児科医に電話を転送します。

【相談日時】 毎日・夜間 午後7時～翌午前6時

【電話番号】 #8000

※ダイヤル回線、IP電話からおかげの場合はTEL 043-242-9939

※相談は無料ですが、通話料金は利用者の負担となります。
また、あくまでも電話によるアドバイスであり、診断や治療はできません。

スマートフォンで簡単検索

【全国救急受診アプリQ助】

アプリをスマートフォンにダウンロードして症状を自分で入力すると緊急度を色別(赤、黄、緑)で表示してくれるサービスです。119番通報する際、選択した症状を伝えることでスムーズに要請することができます。



緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう。



できるだけ早めに医療機関を受診しましょう。



いますぐに救急車を呼びましょう!



総務省消防庁
Q助案内サイト